

2022年3月期

第2四半期決算説明会資料

2021年11月4日

ヤマハ株式会社



決算発表のポイント

決算概要

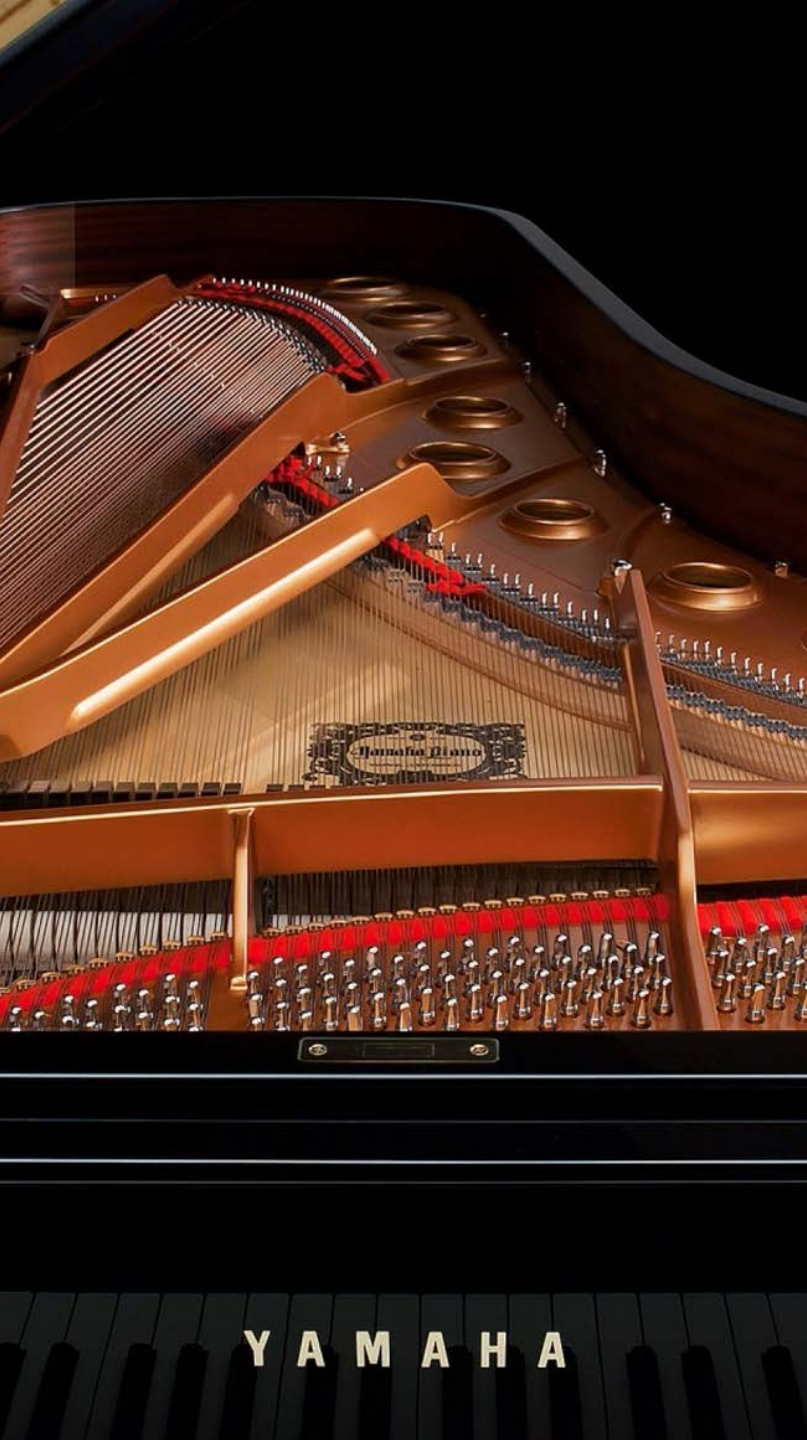
【22/3月期 上期実績】

- ・ 市況の回復が進み増収増益
- ・ 感染再拡大による工場稼働制限、半導体調達難、物流混乱により供給不足が継続した
- ・ 事業利益は、物流・調達コスト増あるも、増収効果により増益

業績予想

【22/3月期 通期予想】

- ・ 需要は引き続き堅調も、供給不足の継続が見込まれ前回予想を下方修正
- ・ 主因は、音源LSIなど半導体調達難、物流混乱の長期化
- ・ 事業利益は、前回予想から減収減産、物流・調達コスト増などを、経費抑制で一部カバーするも、前年並みまで見直し



1. 決算概要

業績概要

(億円)

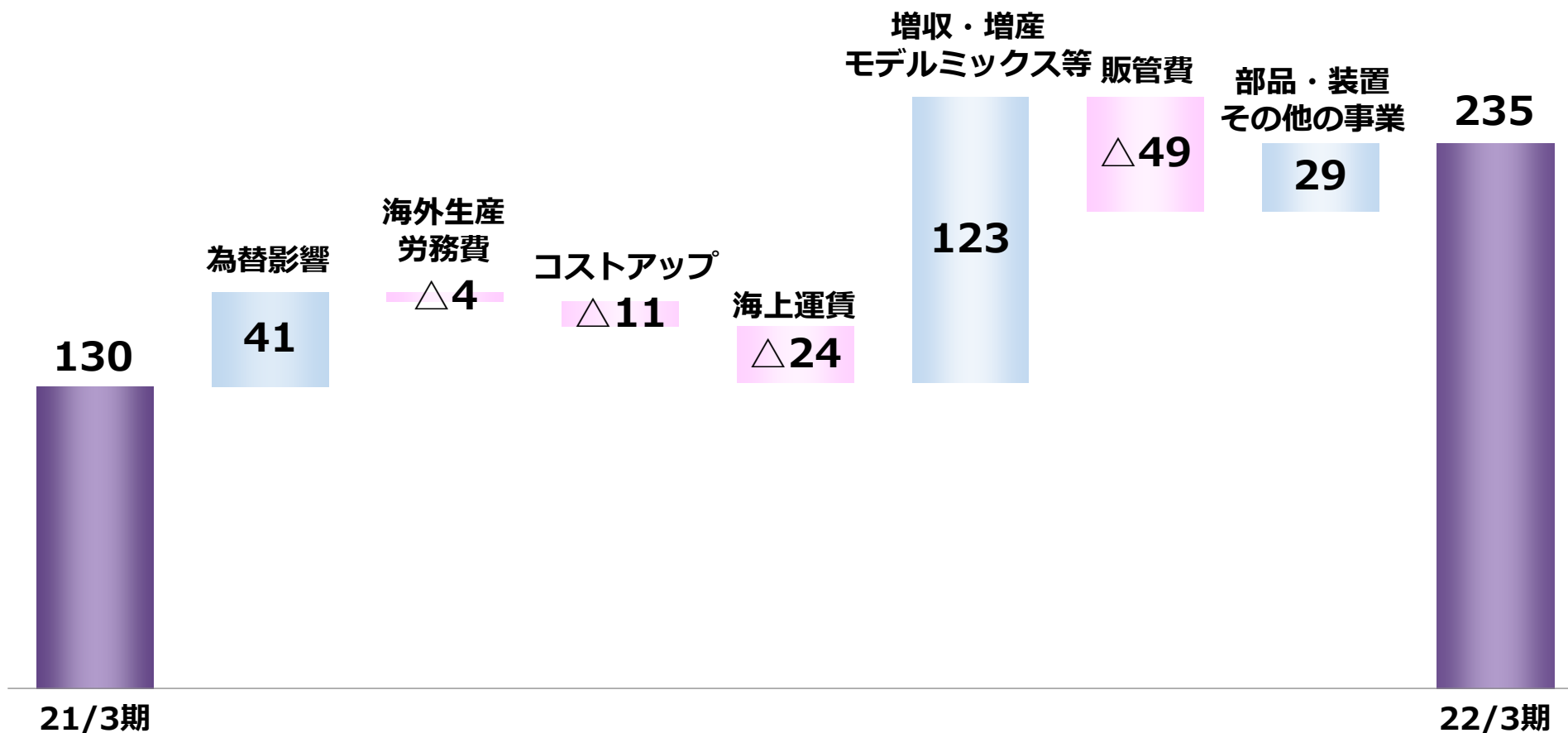
	21/3		22/3		前期比	
売上収益	1,648	1,985	+337	+20.4% ^{*2}		
事業利益 (事業利益率)	130 (7.9%)	235 (11.8%)	+105	+80.4%		
当期利益 ^{*1}	71	214	+144	+202.6%		
					*2 +14.8% (為替影響除く)	
為替レート (円)						
売上収益 (期中平均)	US\$	107	110			
	EUR	121	131			
利益 (決済レート)	US\$	107	110			
	EUR	119	129			

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		21/3	22/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	1,072	1,338	+266	71
	事業利益	117	193	+75	33
	事業利益率	10.9%	14.4%	+3.5P	
音響機器事業	売上収益	452	474	+22	21
	事業利益	16	16	0	8
	事業利益率	3.5%	3.4%	△0.1P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	124	172	+49	2
	事業利益	△3	26	+29	0
	事業利益率	△2.3%	15.2%	+17.5P	

通期業績予想

(億円)

	21/3	22/3 (前回予想)	22/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	3,726	4,000	3,900	+174	△100
事業利益 (事業利益率)	407 (10.9%)	470 (11.8%)	400 (10.3%)	△7	△70
当期利益 ^{*1}	266	410	345	+79	△65

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	106	105	107
	EUR	124	125	129
利益 (決済レート)	US\$	106	105	107
	EUR	121	125	129

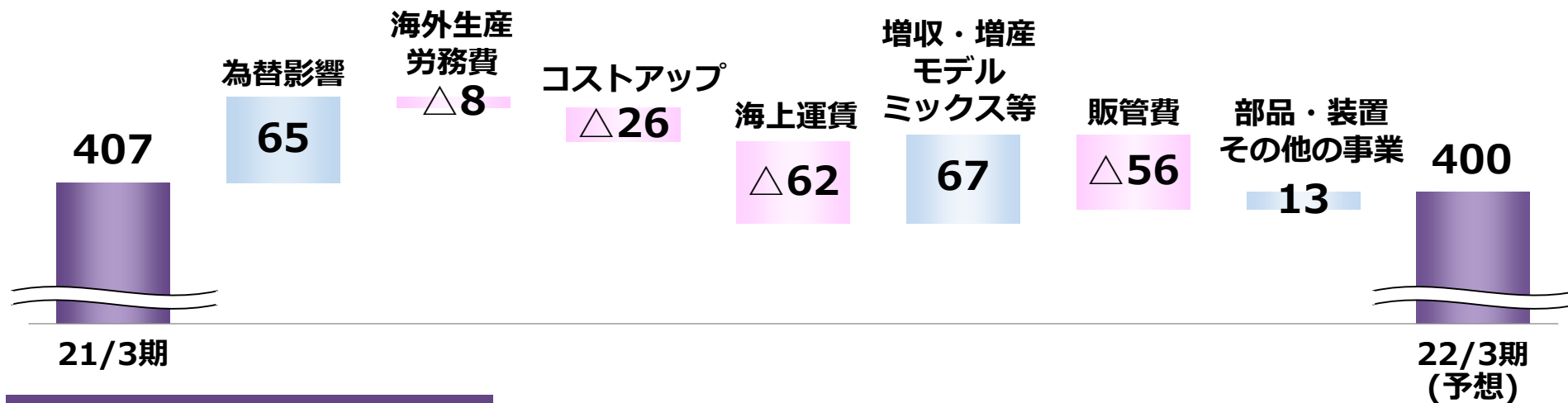
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※下期の為替前提は、US\$105円、ユーロ128円

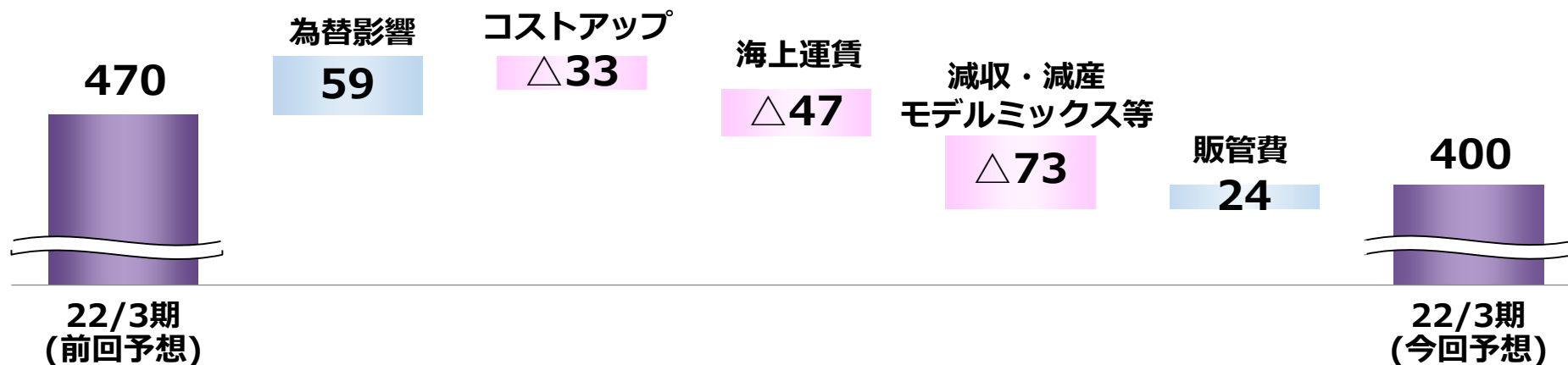
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



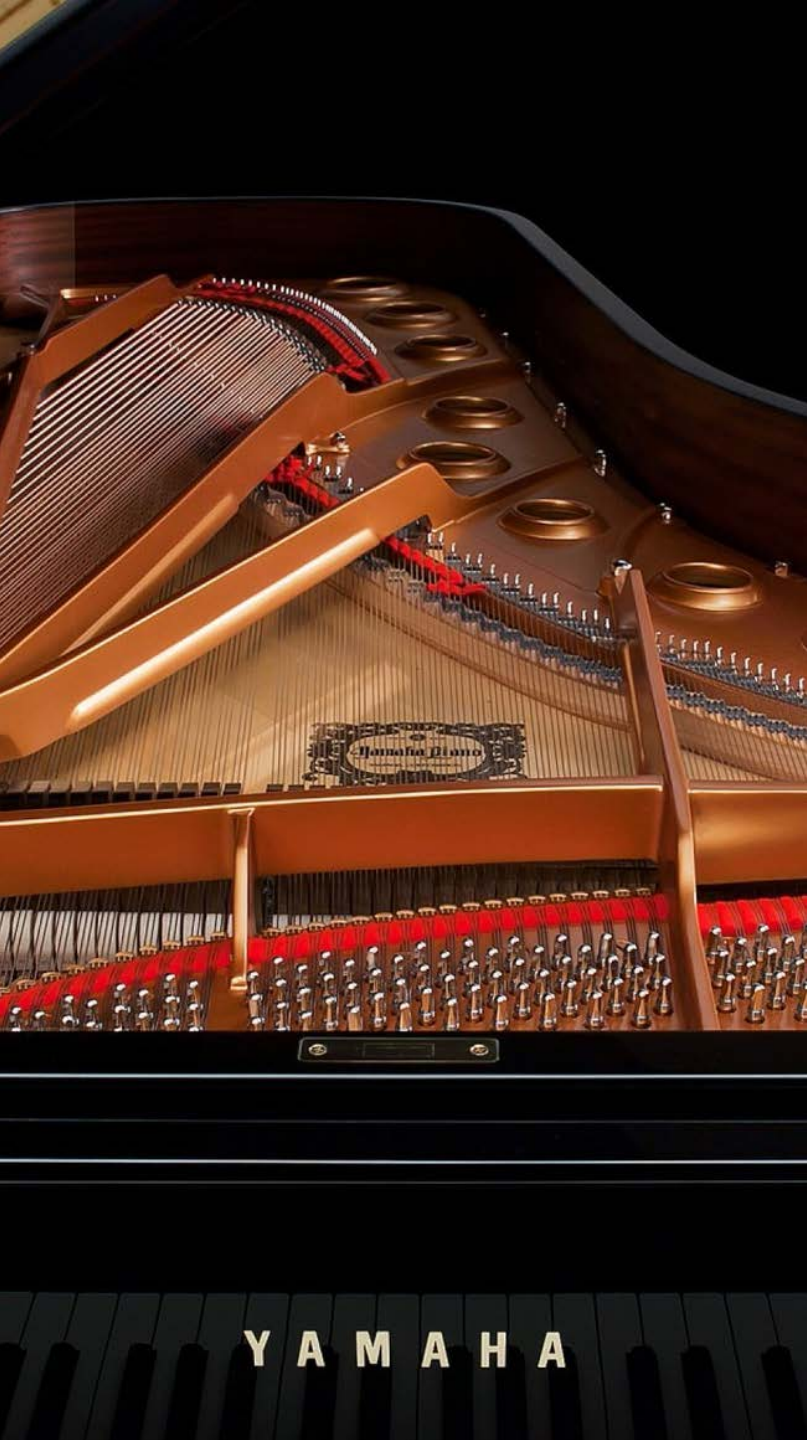
前回予想との比較



事業別業績予想

(億円)

		21/3	22/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,390	2,650	+260	84
	事業利益	324	365	+41	52
	事業利益率	13.6%	13.8%	+0.2P	
音響機器事業	売上収益	1,038	900	△138	26
	事業利益	71	10	△61	13
	事業利益率	6.8%	1.1%	△5.7P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	298	350	+52	2
	事業利益	12	25	+13	0
	事業利益率	4.1%	7.1%	+3.0P	

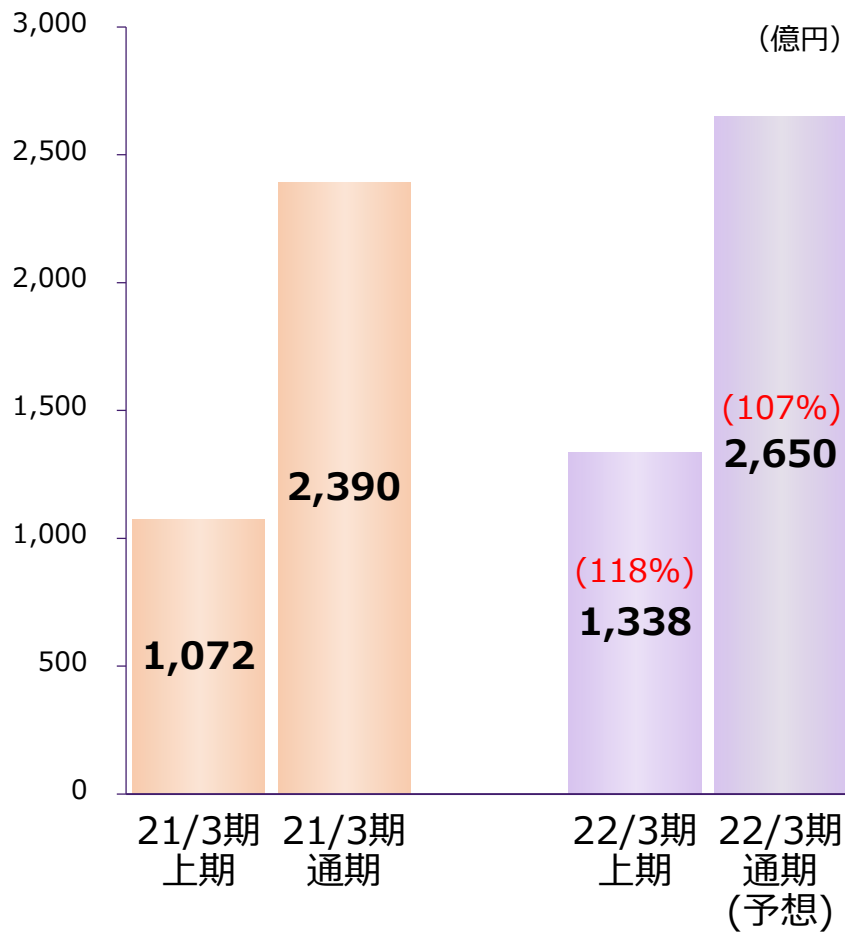


Y A M A H A

2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



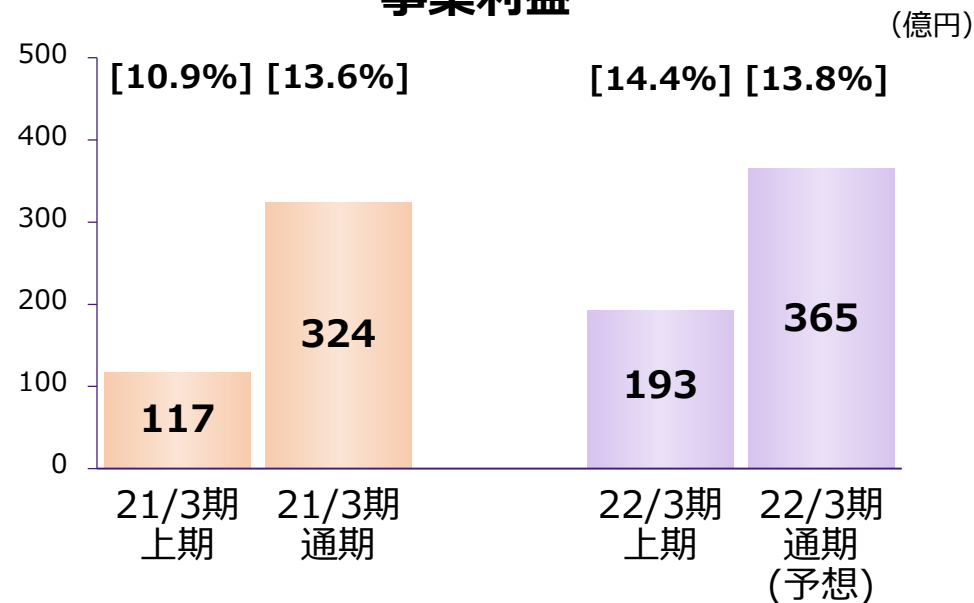
[上期状況] 全カテゴリーで増収

- ・供給不足が続く中、ピアノ・電子楽器・ギターは需要旺盛が続き、管弦打も米欧中の吹奏楽活動再開で需要回復し増収
- ・各地域で市況回復の跛行性あるも全地域増収

[通期見込] 供給不足あるも市況回復による増収増益を予想

- ・電子楽器は音源LSIなどの半導体調達難により供給に制約受けるも、市況回復によりピアノ・管弦打楽器・ギターは増収を予想
- ・全地域での復調を予想

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

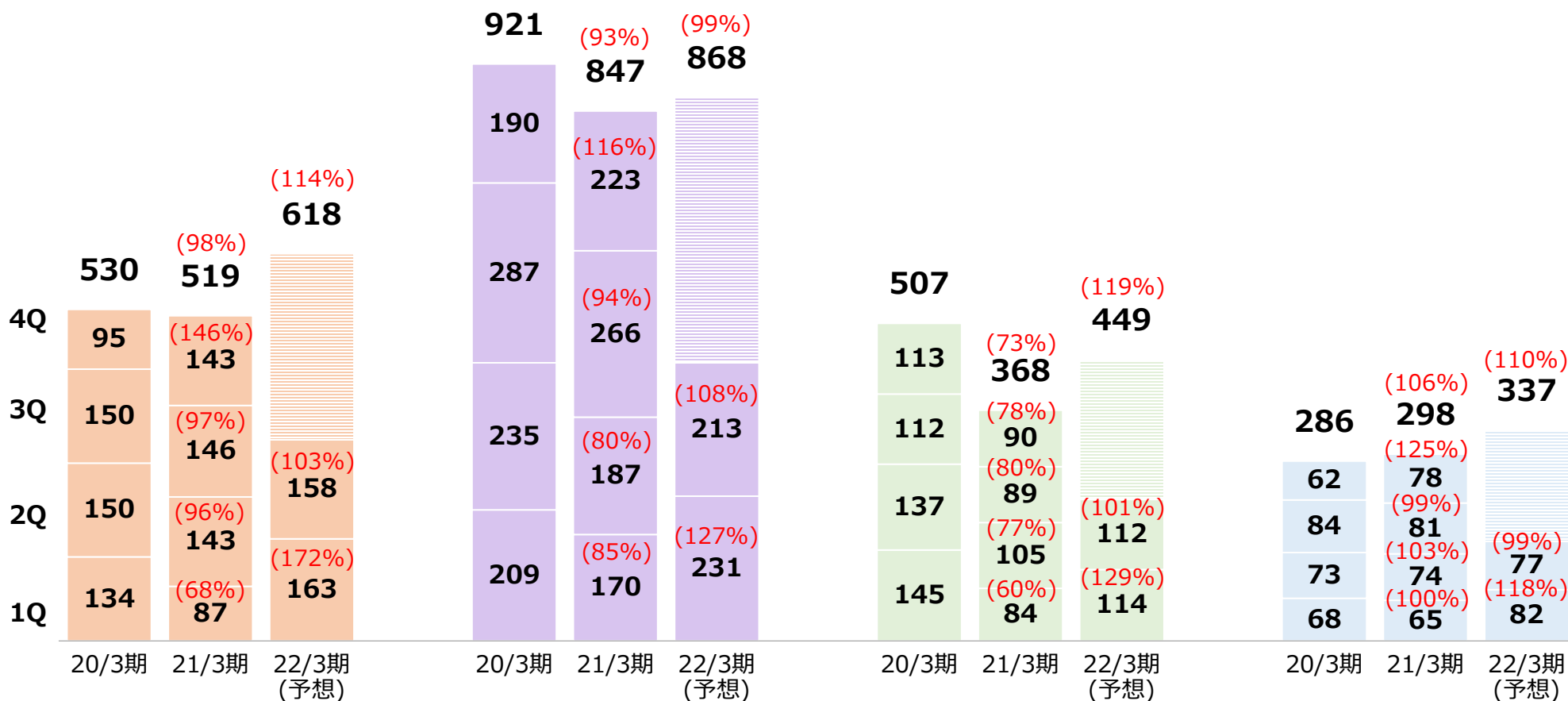
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

(億円)

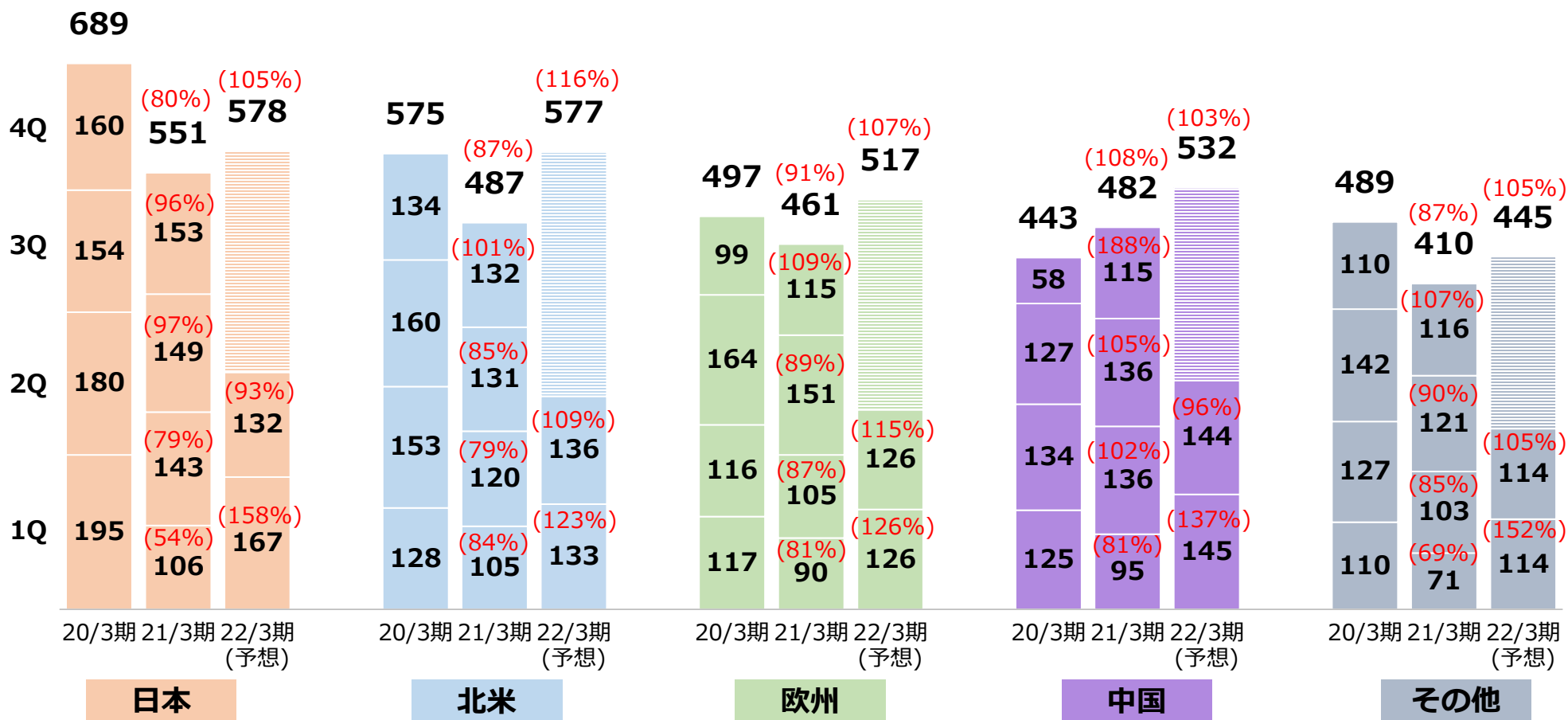


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

*ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 11

地域別販売状況

(億円)



※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

個性際立つ商品の開発

幅広い技術を融合した個性的な商品群

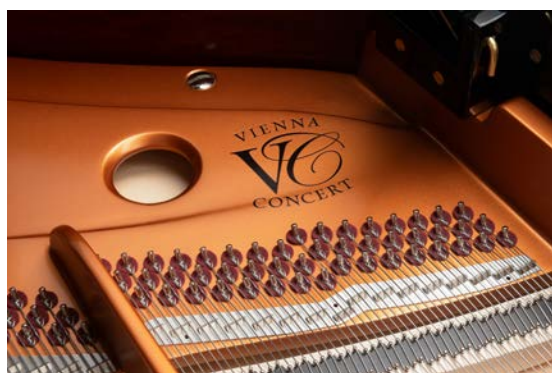
ベーゼンドルファー グランドピアノ
『Model 230VC』



カジュアル管楽器
『Tenor Venova』



電子ドラム
『DTX10シリーズ』 『DTX8シリーズ』



待望のセミコンサートグランドピアノが登場

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21071501/

管楽器 Venovaにテナーバージョンが登場

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21092801/

最新デジタル技術が融合した次世代ドラム

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21091601/

個性際立つ商品の開発

ブランド価値の高揚、ヤマハの成長を支えるYamaha Design

2021年度グッドデザイン賞 受賞商品



GOOD DESIGN
AWARD 2021

次世代
ライブビューイング
『Distance Viewing』

アコースティック
ギタースタンド
『solo』



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21102001/

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

アジアデザイン賞2021 受賞商品



デジタルサクソ
『YDS-150』
Grand Award受賞



ギターアンプ
『THR-II』
Gold Award受賞

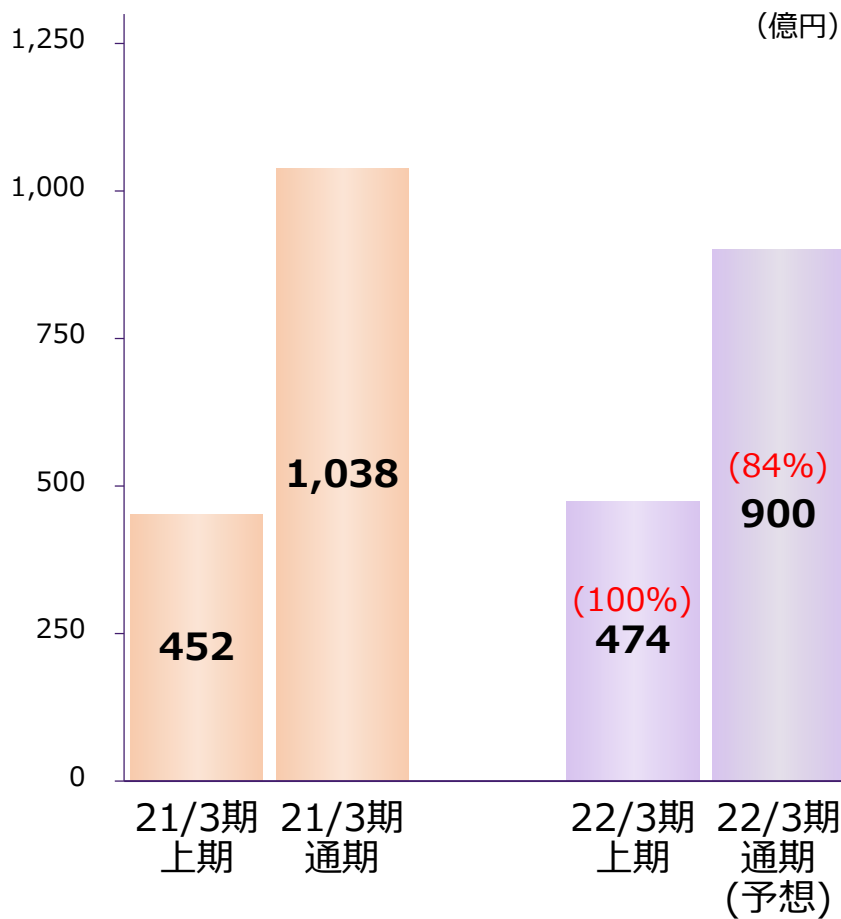


https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21102002/

主催：香港デザインセンター

売上収益・事業利益

売上収益



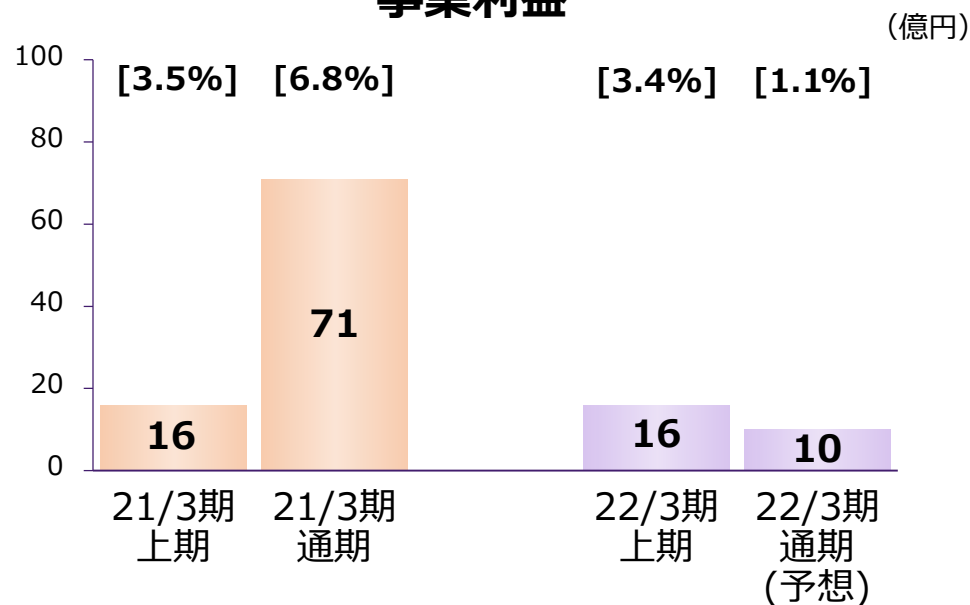
[上期状況] 半導体調達難あるも市況回復し増収

- AVは海外工場稼働低下、半導体調達難等による供給不足で減収
- PAは需要が巣籠りからライブ活動へ移行し始め堅調に推移
- ICTは供給不足あるも需要堅調で好調だった前年並み

[通期見込] 市況回復も半導体不足の影響拡大により減収減益を予想

- AVは半導体調達難の影響が大きく減収を予想
- PAは設備・ライブ市場回復で需要上向くも、半導体調達難により前年並みを予想
- ICTは引き続き需要堅調も供給不足により減収を予想

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率

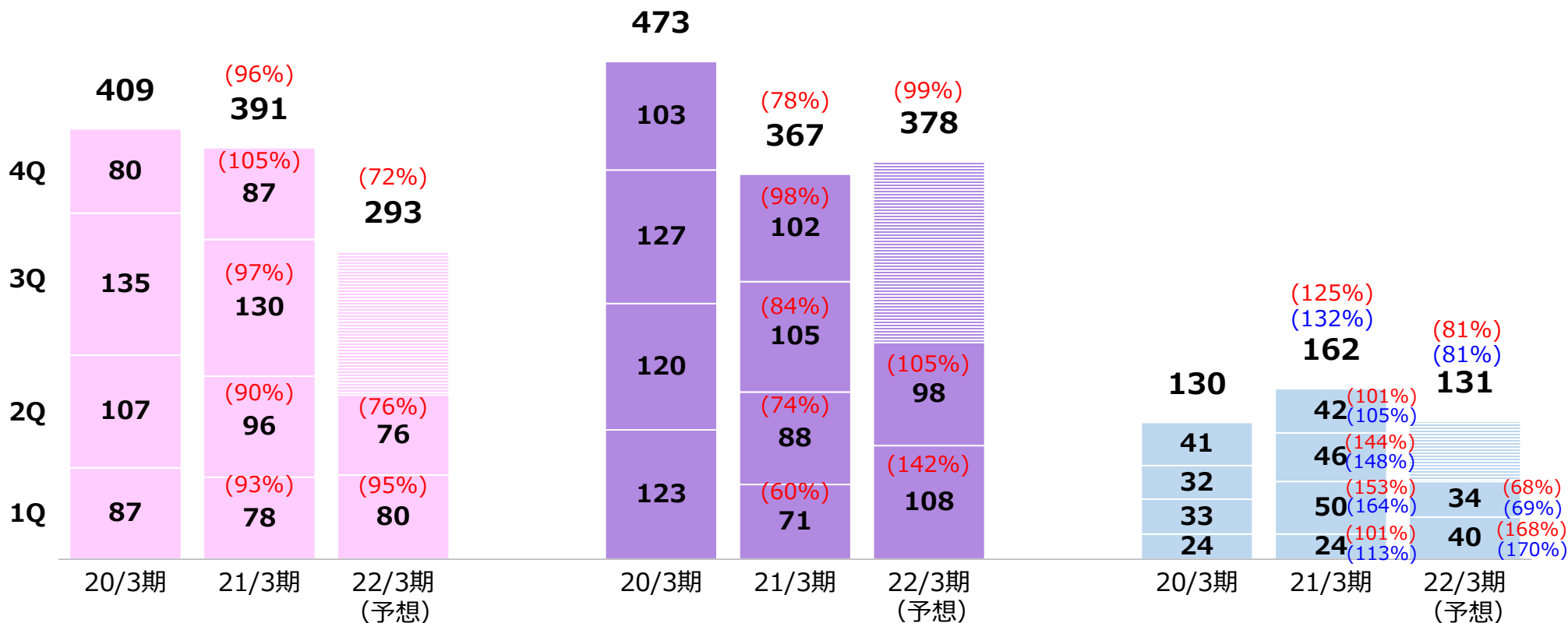
主要商品 販売状況

AV機器

PA機器

ICT機器

(億円)



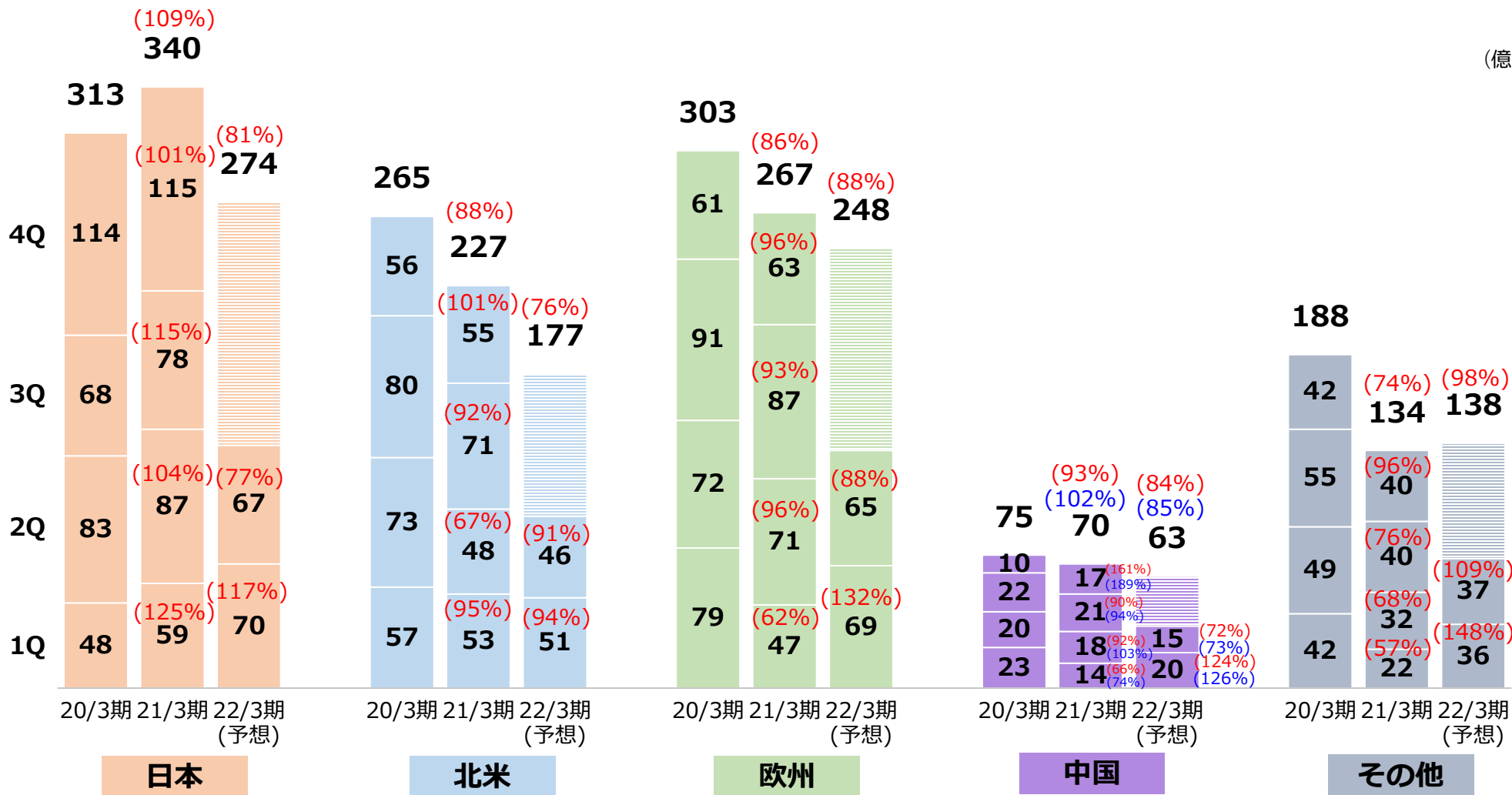
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

()内はOEM向けを除いた前期比増減

地域別販売状況

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

()内はOEM向けを除いた前期比増減

個性際立つ商品の開発

多様なニーズに応える商品展開

パワードスピーカー『DHRシリーズ』
スピーカーシステム『CHRシリーズ』



サイズや設置性を最適化したミドルクラスの業務用スピーカー

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21082503/

AVレシーバー『RX-A8A』
『RX-A6A』 『RX-A4A』



圧倒的なクオリティで楽しめるハイクラスAVレシーバー

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21051301/

個性際立つ商品の開発

遠隔コミュニケーションの多様化に対応

柔軟な働き方

快適なコミュニケーションを実現

遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション 『ADECIA』



『ADECIA』において、バルコ社
「ClickShare Conference」の認証を取得

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21091401/

「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022」ネットワーク機器部門 において6年連続で第1位を獲得

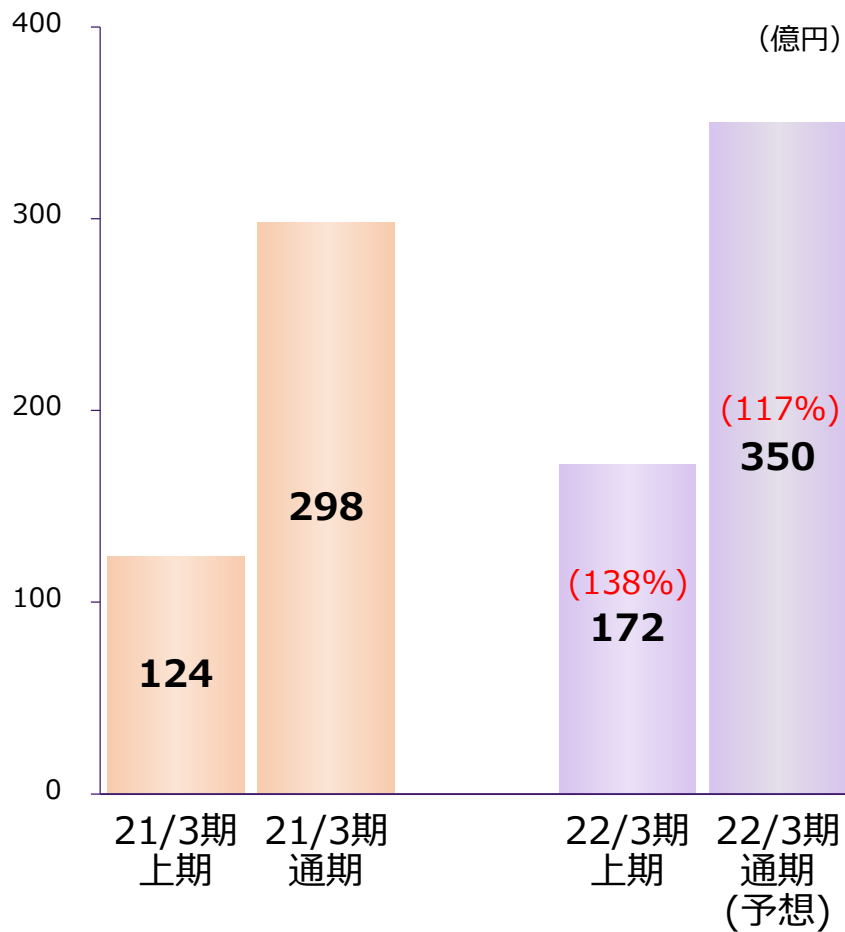
「日経コンピュータ 2021年9月2日号 顧客満足度調査
2021-2022ネットワーク機器部門」において
6年連続（通算7回目：2007年、2016年～2021年）
で第1位を獲得。当社の機器は、
「運用性」「コスト」などの項目で非常に高い評価。



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21081602/

売上収益・事業利益

売上収益



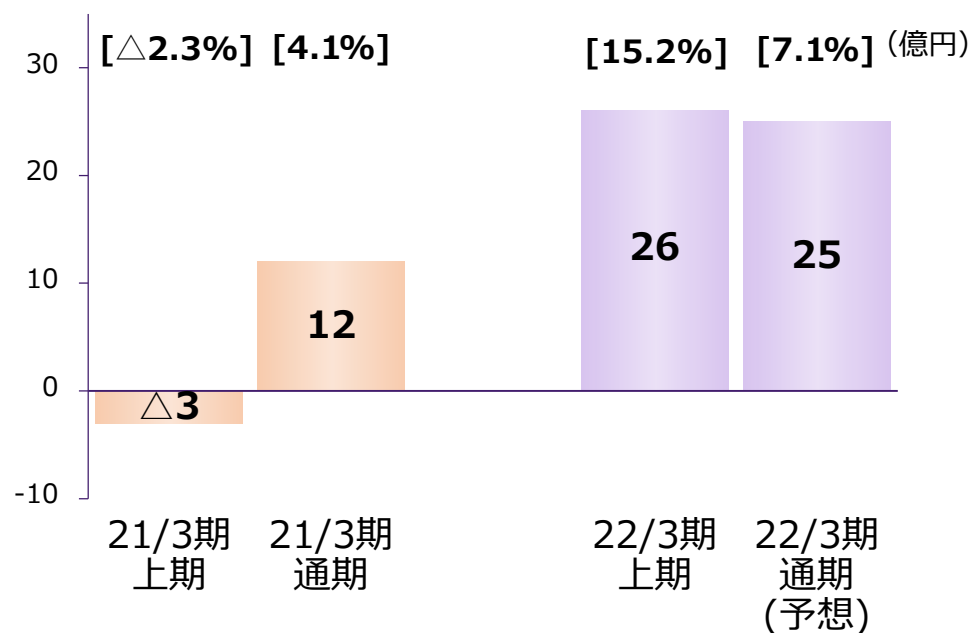
[上期状況]

・市況回復により、電子デバイス、自動車用内装部品、FA機器とも増収

[通期見込]

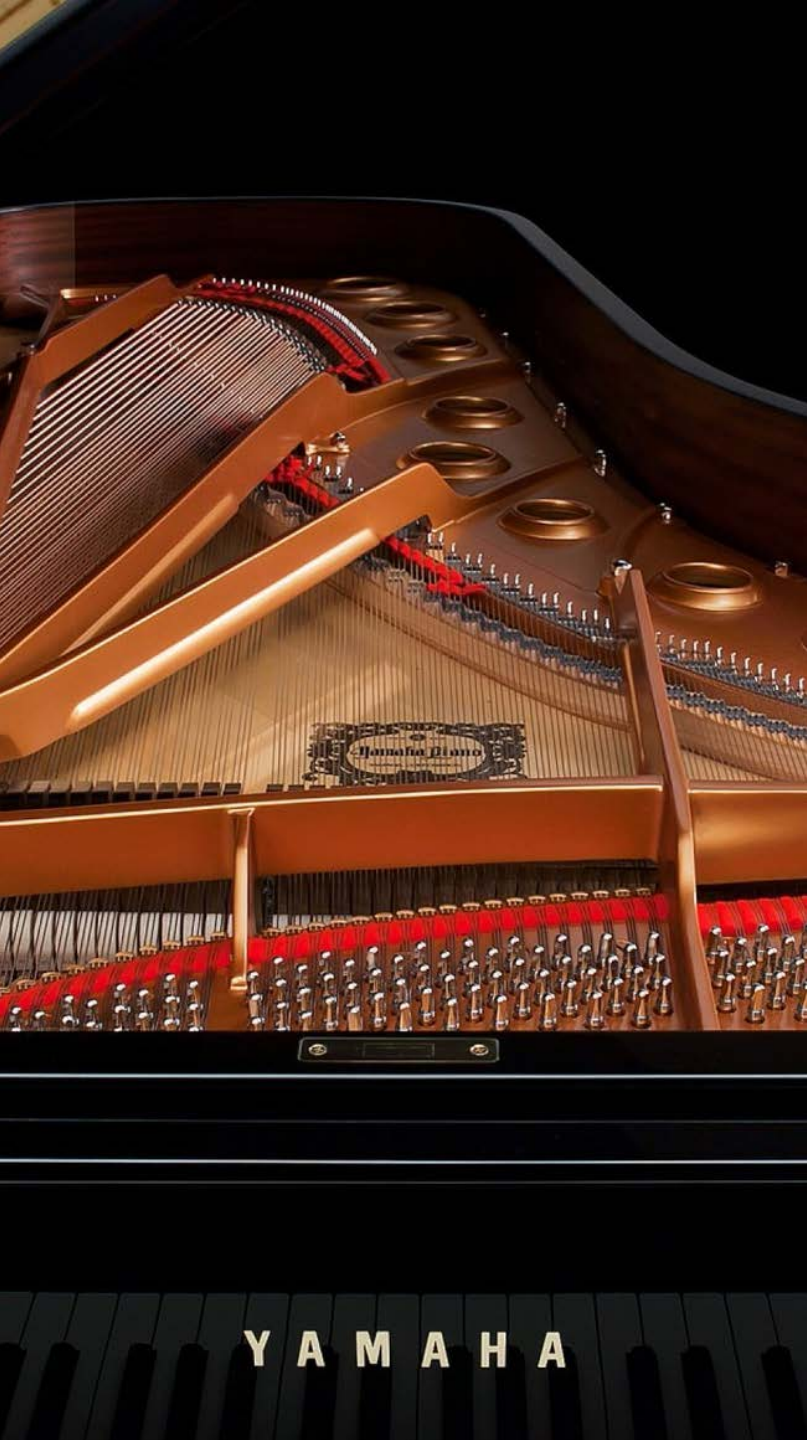
・半導体調達難、顧客企業の減産影響あるも、市況回復により増収を予想

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[]内は事業利益率



Y A M A H A

3. その他財務数値

貸借対照表

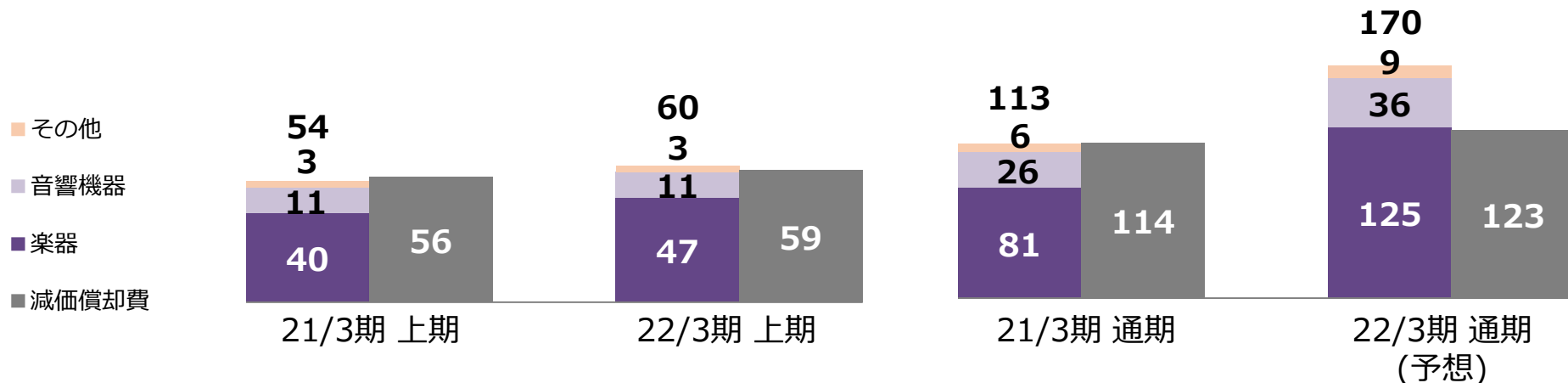
(億円)

	21/3末	22/3 上期末	増減	22/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,293	1,782	488	1,780
営業債権他	573	514	△60	530
その他金融資産	86	59	△26	60
棚卸資産	968	1,031	63	970
他流動資産	91	71	△19	70
非流動資産	2,565	2,160	△405	2,190
資産計	5,576	5,617	41	5,600
流動負債	1,009	1,120	111	1,110
非流動負債	598	493	△105	490
資本計	3,969	4,004	35	4,000
負債及び資本計	5,576	5,617	41	5,600

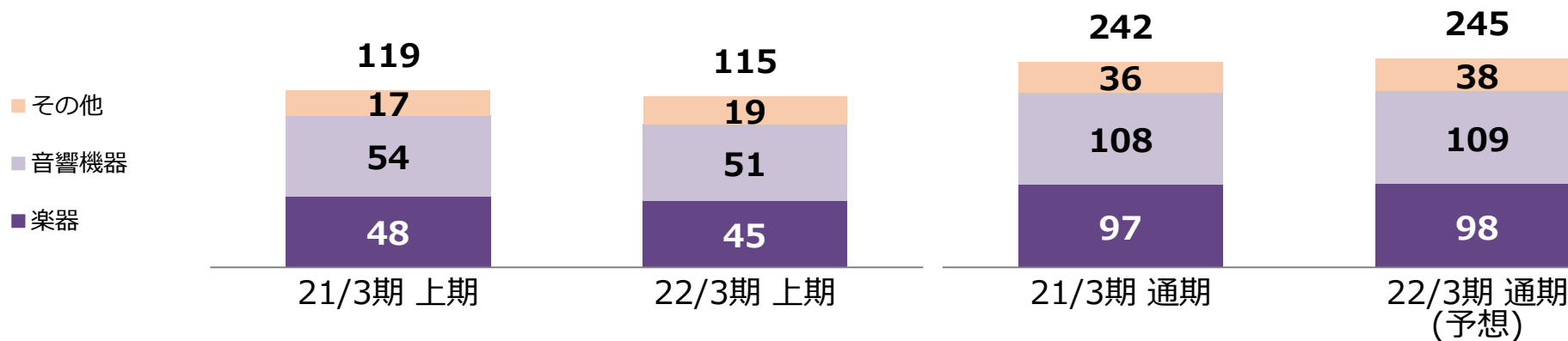
設備投資額・減価償却費/研究開発費

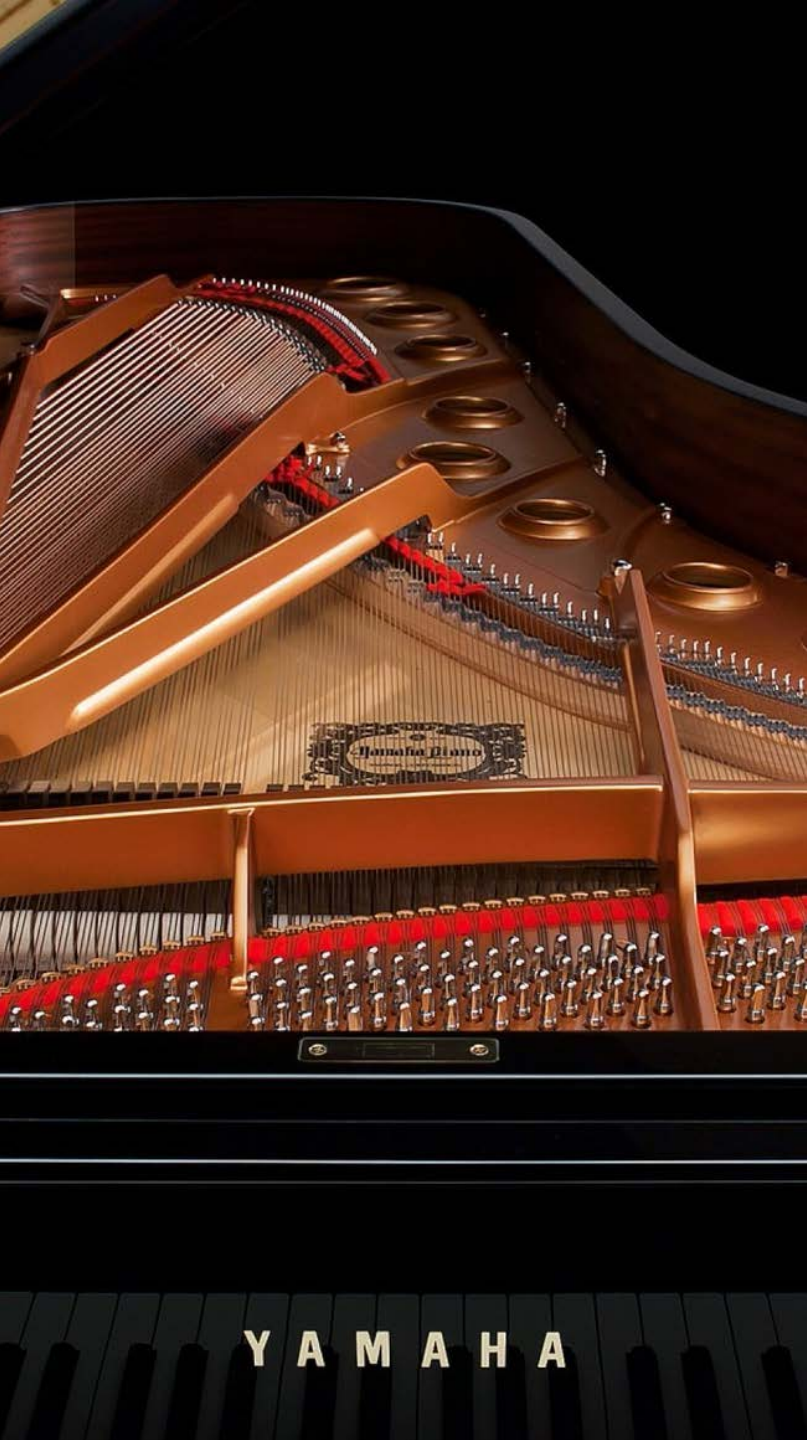
設備投資額/減価償却費

(億円)



研究開発費





4. ESGの取り組み

ESGトピック

事業を通じ、音楽文化・社会の持続的発展に貢献する

文化

音楽文化の サステナビリティに貢献

■ JICA-SDGsパートナーに認定



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21081601/

■ 演奏を保存し再現するシステム 「Real Sound Viewing」



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21101901/

■ 「楽器工作 つくろう、ならそう！」



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21092901/

社会

ともに働く人々の 多様性、働きがい向上

■ 「30% Club Japan」へ加盟 「WEPEs」に署名

女性活躍推進強化へのコミットメントを表明



In support of

WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21090301/

■ (株)ヤマハコーポレートサービス 「プラチナえるぼし」認定



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21062501/

環境

自然との共生

■ 「SBTイニシアチブ」の 「1.5℃目標」で認定を取得



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21092401/

■ 北海道と包括連携協定を締結



(右) 北海道
鈴木 直道 知事

(左) ヤマハ (株)
代表執行役社長
中田 卓也

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21100402/

トピック

「ヤマハグループ 統合報告書2021」を発行



エンゲージメントツールの一つとして活用し
ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を推進



- 〈目次〉
- I. ヤマハの価値創造
 - II. 経営戦略
 - III. 事業別／機能別戦略
 - IV. コーポレートガバナンス
 - V. 財務／企業情報

詳細はこちらから：<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>

※英語版は11月中旬に発行予定

リモート応援システム『Remote Cheerer』が 「CEATEC AWARD 2021」において 「DX部門 グランプリ」を受賞

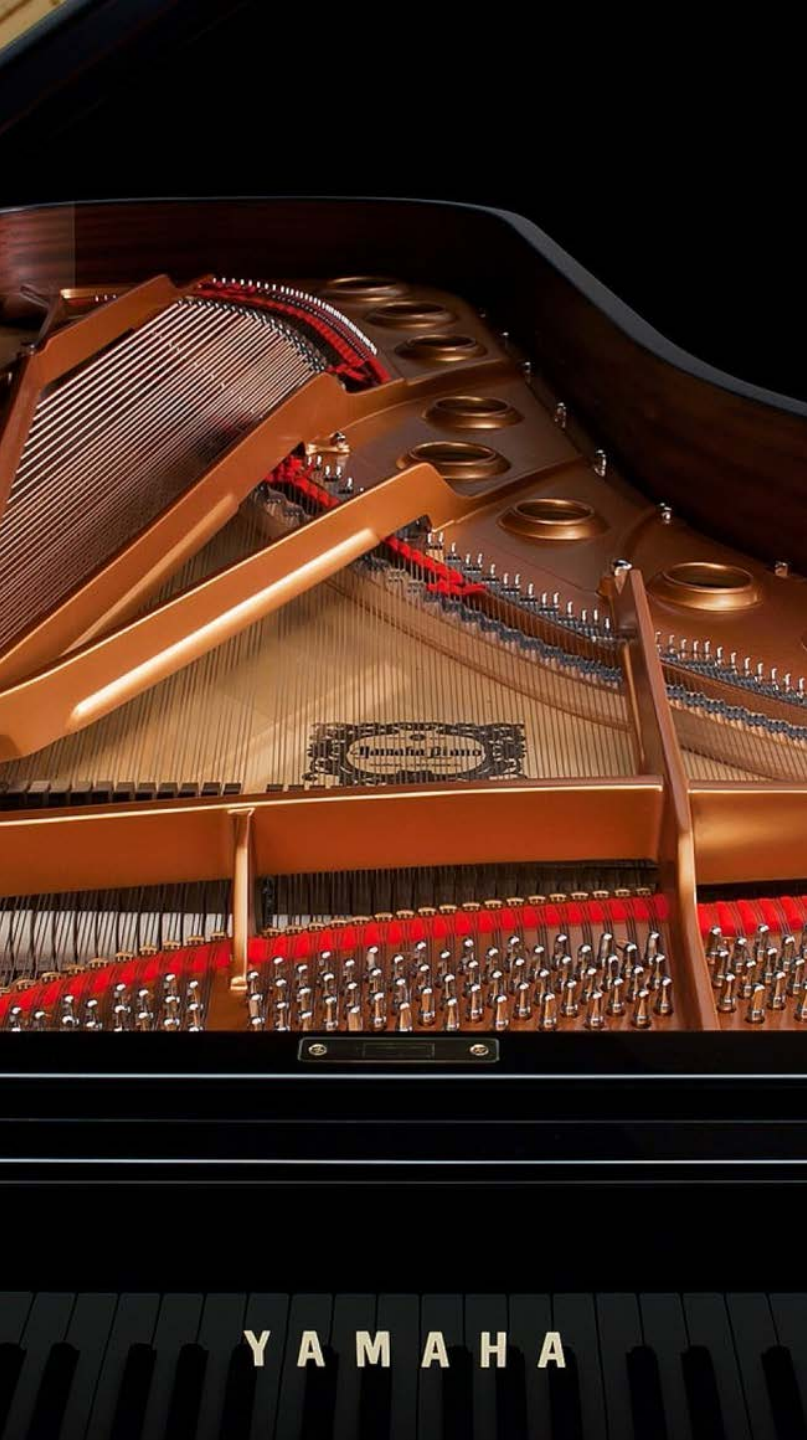


https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21101801/

AIと人間の共創を追求するプロジェクト 『Dear Glenn』が世界最大の広告祭 「カンヌライオンズ」にて「シルバー」を受賞



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21070601/



付属資料

2Q 業績概要

(億円)

		21/3	22/3	前期比	
売上収益		930	960	+30	+3.2% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		119 (12.8%)	101 (10.5%)	△18	△14.9%
当期利益 ^{*1}		89	80	△9	△9.8%
為替レート (円)					^{*2} △1.1% (為替影響除く)
売上収益 (期中平均)	US\$	106	110		
	EUR	124	130		
利益 (決済レート)	US\$	106	110		
	EUR	118	131		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

2Q 事業別実績

(億円)

		21/3	22/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	606	653	+47	31
	事業利益	92	89	△3	18
	事業利益率	15.2%	13.6%	△1.6P	
音響機器事業	売上収益	257	229	△27	8
	事業利益	27	3	△24	4
	事業利益率	10.4%	1.2%	△9.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	68	78	+11	1
	事業利益	0	10	+10	0
	事業利益率	0.1%	12.3%	+12.1P	

上期 その他収支等

(億円)

		21/3	22/3
事業利益		130	235
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	△0	47
	その他	△23	6
	計	△23	53
営業利益		107	288
金融収支計	受取配当金	4	22
	その他	△10	△15
	計	△6	7
税前利益		101	295
法人所得税費用		30	81
非支配株主利益		0	△0
当期利益*		71	214

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		21/3	22/3 (予想)
事業利益		407	400
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△1	46
	その他	△56	9
	計	△57	55
営業利益		350	455
金融収支計	受取配当金	27	32
	その他	△6	△17
	計	21	15
税前提利益		371	470
法人所得税費用		104	124
非支配株主利益		1	1
当期利益*		266	345

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。